

#### 科学技術振興機構復興支援プログラム

### シンポジウム 「未来を創る東北の力」

2014年7月31日 株式会社アイカムス・ラボ 代表取締役 片野 圭二





### 会社概要

- 設立: 2003年5月28日

•資本金:4,227万円

•本社:岩手県北飯岡一丁目8-25

盛岡市新事業創出支援センター(M-tec)

•役員: 代表取締役 片野 圭二

取締役 田村 孝

高橋 宏利

清水 友治(岩手大准教授)

小川 淳(FVC)

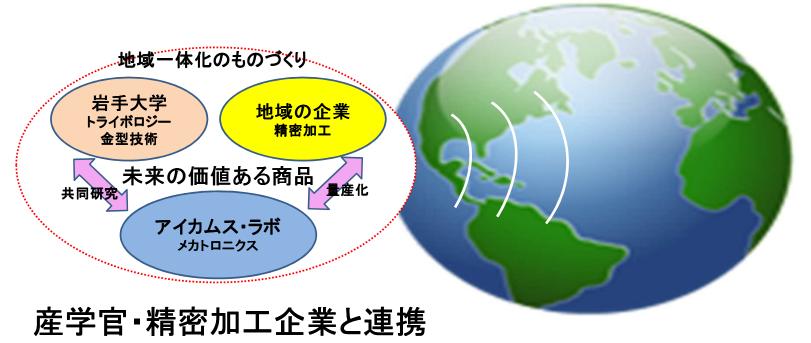
監査役 高橋 龍次

•社員:27名



### 会社事業紹介

#### 企業理念



岩手から世界へ 未来に価値ある商品と技術を発信する



### マイクロアクチュエータ

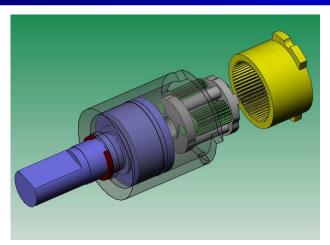




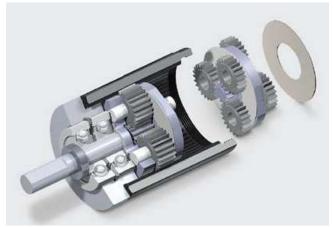
仕様	Ф4	Ф6	Ф8	仕様	Φ4リニア	Ф6リニア	Ф8リニア
外形寸法	Φ4.3×5mm	Ф6×13.7m m	Ф8×18.8m m	アクチュエータ	Ф4	Ф6	Ф8
減速方式	不思議	不思議	2k-H	外形寸法	Φ4×18.8mm	Φ6 × 24.4mm	Φ8 × 31.5mm
減速比	1/79.2	1/83.1	1/8	最大ストローク	4mm	4mm	<b>7</b> mm
1回転ステッ プ数	1,584	1,667	160	理論分解能	0.24µm/ステッ プ	0.24µm/ステッ プ	0.24µm/ステッ プ
応答性	2rps	2rps	20rps	推力	4N	4N	12N
トルク	0.5mNm	2mNm	2mNm	応答性	0.8mm/s	0.8mm/s	0.5mm/s



#### プラスチック歯車減速機の優位性



不思議遊星歯車減速機



多段式金属歯車減速機

#### プラスチック歯車減速機の優位性(対金属歯車減速機)

- 1. 金属の切削加工の限界をブレークスルー
  - ・減速機直径Φ6mm以下(内歯車直径でΦ4mm以下)は金属では不可能
- 2. プラスチック成形金型の優位性を生かす
  - ・金型の精度に依存するので部品精度が安定
  - ・形状自由度が高いので、部品点数を少なくできる
- 3. プラスチック歯車は潤滑剤が不要でクリーン

#### 不思議歯車減速機の優位性(対多段式歯車減速機)

- ・1段で高減速(約1/100)が可能⇔多段式では3段以上必要
- 出力軸側から回転しないので位置の保持性が高い

#### 小型・軽量・低価格・環境性に優れる歯車減速機



#### 産学連携による開発

プラスチック・マイクロ歯車減速機によるマイクロアクチュエータ



#### 岩手大学 岩渕・清水研究室との連携

岩手大学の技術シーズ「精密金型技術」による高精度化「トライボロジー技術」による低摩擦化、高寿命化により、超小型プラスチック歯車減速機の高精度・高寿命化を実現



### 測量機



Φ4,6,8マイクロアクチュエータ

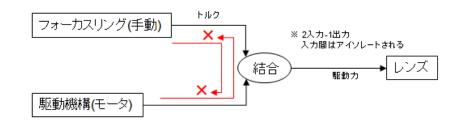
特徴

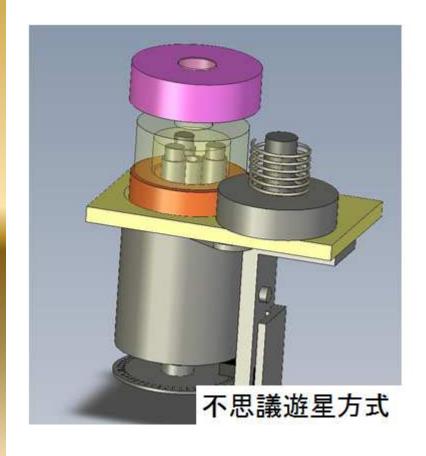
30Hzの高速シャッタリング機構1,670step/rev.の高分解能絞り機構



### 一眼レフ用アクチュエータ

#### 【特徴】不思議歯車機構を用いた フルタイムマニュアル機構



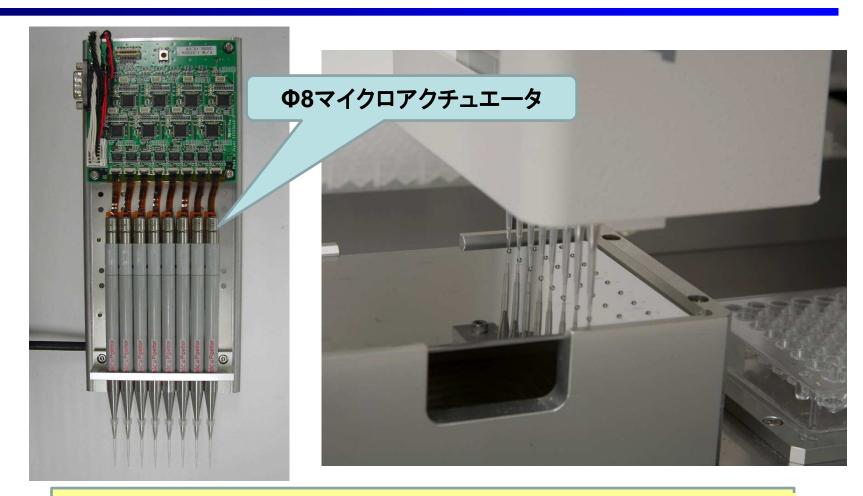




- •特許出願中
- •機械学会技術賞受賞



### 8連マイクロピペット



特徴

9mmピッチ(規格)に独立で配列可能 微量・精密流量制御



### 世界初の「ペン型」電動ピペット

## pipetty



2013年11月発売開始



## 災害現場における救急救命用 スタンドレス輸液装置の開発

研究機関 (株)アイカムス・ラボ 岩手大学 廣瀬研究室、西村研究室 岩手医科大学 秋冨助教 (有)UNO

## で スタンドレス輸液装置の開発

#### 製品コンセプト

- スタンド設置が不要
- 傾斜 衝撃 振動に強い
- •高流量による急速投与
- ・バッテリーの高寿命化











#### 研究開発内容

汎用チューブが使用可能な、高精度・高効率のスタンドレス輸液装置のための研究開発を行う

- 1. 高精度・高流量化:岩手大学、アイカムス・ラボ
  - •ポンプの高効率化と高精度化のための解析技術の確立
  - ・高効率化・高精度化のためのモーター制御技術の確立
- 2. バッテリ寿命向上: UNO、アイカムス・ラボ
  - ・ 高効率コアレスモータの開発
  - ・ 溝付き軸受による低摩擦化
- 3. スタンドレス、耐傾斜・耐振動の評価 岩手医科大学、アイカムス・ラボ
  - ・輸液ライン安定保持構造の開発



# ポンプの高効率化と高精度化のための解析技術の確立

#### 技術課題1 岩手大 廣瀬宏一、西村文仁

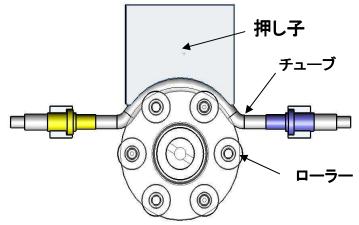
目標仕様: 吐出流量1000mL/h、精度±10%を実現するために

・チューブの弾性解析

ポンプの流れのモデル化とシミュレーション

を開発し、パラメータを最適化することで設計指針を得る

項目	パラメータ		
チューブ	肉厚、直径、材質		
ローラー	直径、幅、個数		
押し子	巻きつけ角、荷重		



ゴムの非線形構造解析技術: 西村先生

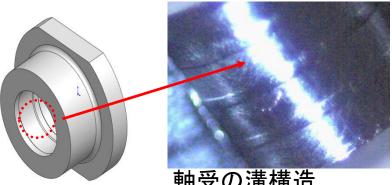


出口流出流体解析技術:廣瀬先生

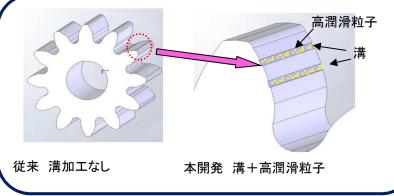
### COMES 溝形状と高潤滑粒子の最適化検討

#### 技術課題2-2 ㈱アイカムス・ラボ

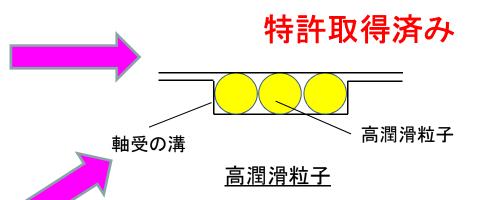
軸受に溝加工と高潤滑粒子数を低減し動力伝達効率をUPする

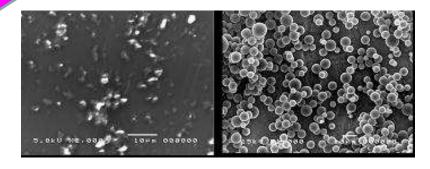


軸受の溝構造



歯面の溝構造





フッ素粒子 高潤滑粒子

カーボン粒子

目標仕様:動力伝達効率 従来60%→75%(減速比1/25)



#### 震災復興への貢献



<u>救命救急用</u> 地震・津波を始め世界中で自然災害が増大

<u>在宅·一般病棟用</u>

高齢化・医師不足による在宅医療のニーズ拡大

医療機器、救急用医療機器を始め、高付加価値製品を地域で開発・製造することで、 東北の復興に貢献することを目指します!